

A basic study on the housing for the rural aged in Korea : focusing on the longitudinal change in the elderly living arrangement and on the current housing conditions of the rural aged and a guide for their improvement

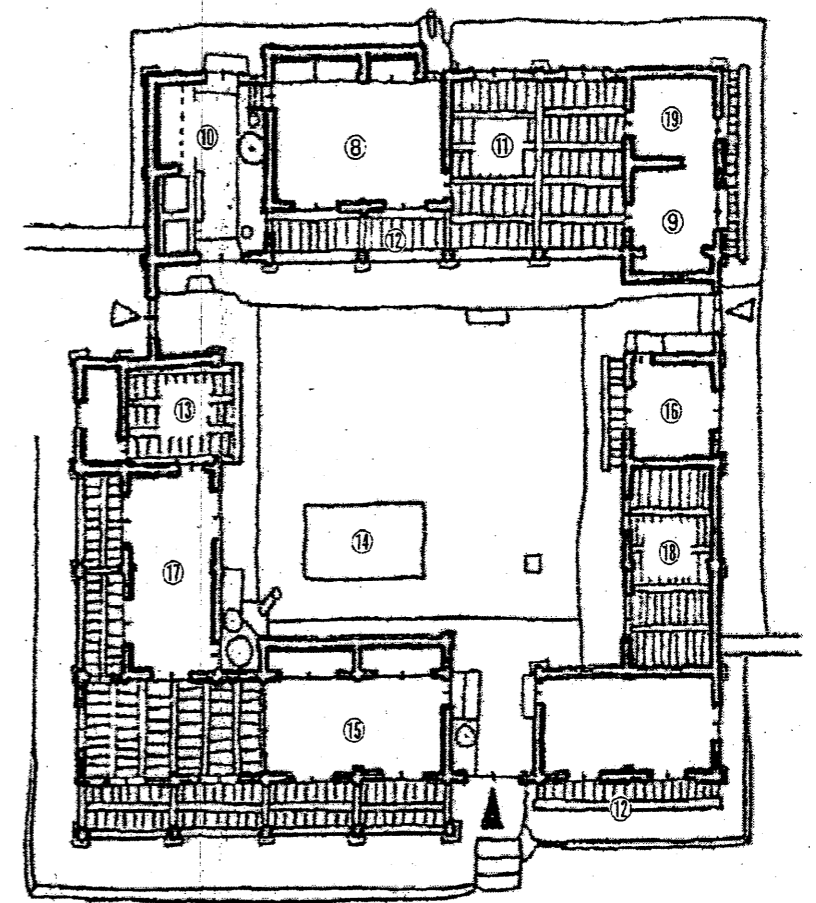
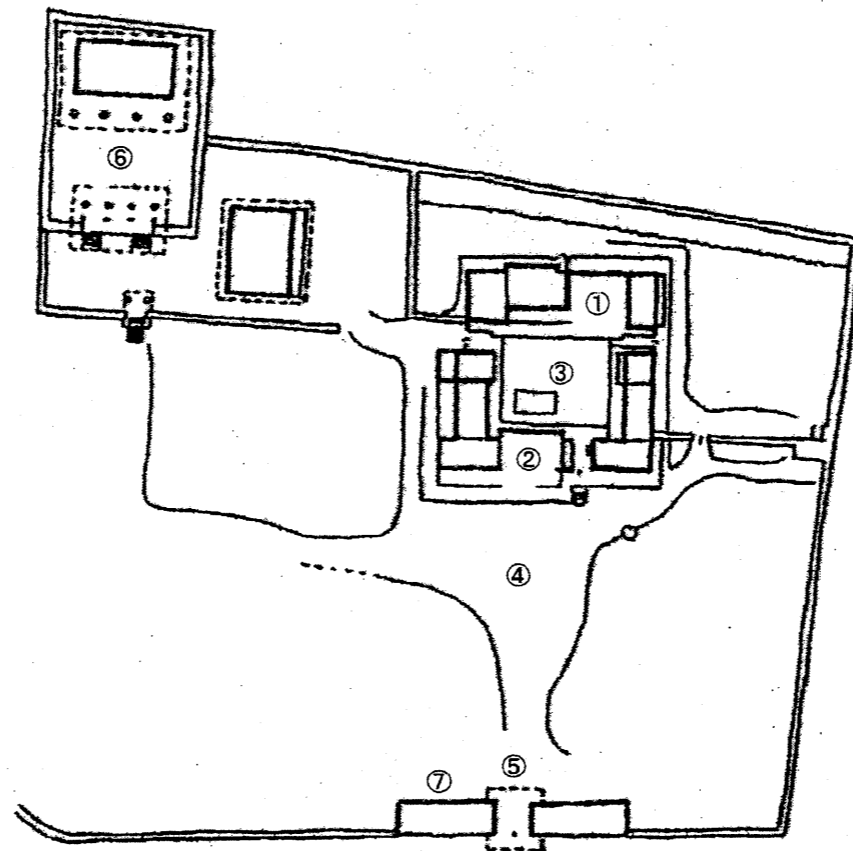
表, 正仁

<https://doi.org/10.15017/459646>

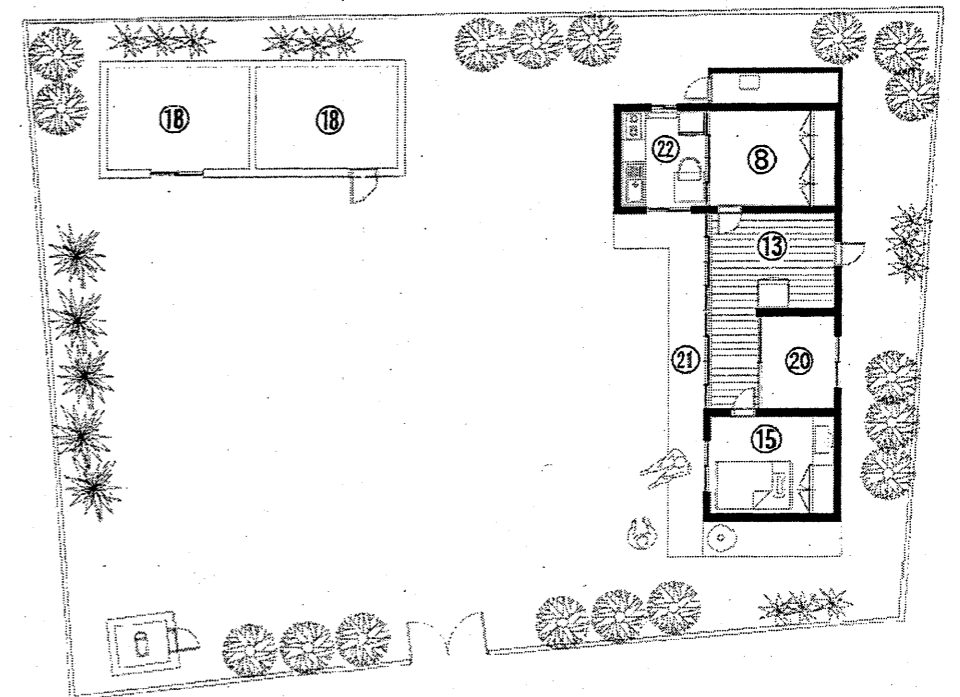
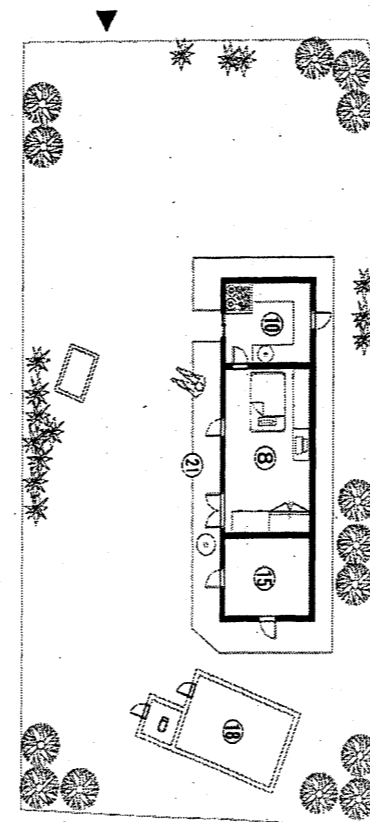
出版情報 : 九州大学, 2006, 博士 (芸術工学), 論文博士
バージョン :
権利関係 :

用語定義

- ①アンチェ(内棟):家族が日常生活を行なう主屋棟。主婦を中心にした家族の棟。
- ②サランチェ(舎廊棟):アンチェと分離した対社会性を備える棟。接客を意識した主人の生活の場として位置づけられる。
- ③アンマダン(内庭):アンチェが面する庭。マダン(庭)と区別して塀やサランチェなどに囲われた申庭を指す場合が多い。
- ④サランマダン(舎廊庭):サランバンに面する庭。通常、サランチェはアンマダンに背を向け、外側のサランマダンに開口部をとる。
- ⑤デームン(大門):屋敷に入る主要な出入口。
- ⑥サダン(祠堂):四代の祖父母の位牌を納め、チェーサ(祭祀)をおこなう棟。門を併設することが多い。
- ⑦ヘンランチエ(行廊棟):居住棟の外側を、さらにこれを取り囲むように下人の部屋、倉庫、便所などを一列に並べた囲いの棟。大門が長屋門のように倉庫や家畜舎、居住部分の棟のなかに形成される場合をムンカンチェ(門間棟)と称することもある。
- ⑧アンバン(内房):家長が起居し、家の中心になるオンドル部屋。女性の空間という考えもある。多くは夫婦寝室として使用。
- ⑨サンバン(上房):副室。大庁(テーチョン)を挟み、アンバンの反対側にあるオンドル部屋。子女の部屋として使用。
- ⑩プोक(釜屋):土間台所。隣接するアンバンの側にオンドルの焚き口を兼ねた冬の竈をしつらえる。床下に煙を送るため、床は低く押さえられている。
- ⑪テーチョン(大庁):アンバンに接し、マダン(庭)に開放された板張りの空間。アンバンに接したデーチョンは米櫃を置き、チェーサ(祭祀)を行なう部屋。半島南部では穀物や家財を収蔵する空間。マル、と呼ぶ場合もある。
- ⑫テッマル:(縁側)
- ⑬マル(抹楼):テーチョン、縁側や板張りの部屋などの通称。部屋になったものをマルパン(抹楼房)とも言う。
- ⑭チャンドクテ(醬臺):味噌、醤油などの甕を保管する場所、キムチ置場をも指すこともある。
- ⑮サランバン(舎廊房):一家の主人が起居し、接客や教育などに使用して家の社会的な機能を担った部屋。男性の空間。
- ⑯コバン(庫房):穀物などの食糧、食器などの家具を保管する板張りの収納。
- ⑰チャグンサランバン(小舎廊房):カッサランバンと呼ぶ場合もある。サランチェに部屋が二つ以上ある場合、大きい部屋をクンサランバン(大舎廊房)、小さい部屋をチャグンサランバンと呼ぶ。
- ⑱クワン(拵):米などを貯蔵する板張りの倉。プोकやマダンの近くに設置。
- ⑲ウッパン:アンバン、サンバン、サランバンに隣接する次の間。家具などを置いて副室として使用。
- ⑳ヨクシル(浴室):便所・洗面所と一体になっているのが一般的。ハジャンシル(化粧室)と呼ぶ例もある。
- ㉑チュク(基壇):調査地域で基壇を意味する用語であり、調査地域にあっては、伝統的に腰を下ろすことができる機能も持つ場合が多い。基壇のこのような使い方は、安東地域の在来農村住宅の特徴のひとつである。
- ㉒チュバン(厨房):システムキッチンを指す。DKになっているのが一般的である。
- ㉓チュンバン(中房):在来農家の及び改良型農家で部屋が一列に並んでいる場合、その真ん中に位置する部屋を呼ぶ。



[伝統的な住居の空間構成]



[改良型農村住宅の住居の空間構成]